

平成24年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	4. 衛生費	大事業	5. 献血推進事業
項	1. 保健衛生費	中事業	
目	1. 保健衛生総務費	担当所属	社会福祉課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独		927	△1	0		平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
							平成28年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		926
本年度当初査定額		

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								926
本年度当初査定額								

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 血液製剤は、国内自給が確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されなければならない、年間を通じた献血の確保に努める。</p>	<p>(事業の目的) 医学の進歩や、各種の研究が進んでも、なお、人間の血液に勝る代用品が見つからず、人命救助のため、国内の血は国内で、県内の血は県内で自給出来るよう推進に努める。 副作用の半減出来る400ml献血の増大を図る。</p>	<p>(事業の効果) 安全性の高い血液を輸血により確保し、医療用血液の万全を期する。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 季節や天候等に左右される傾向があり、年間を通して安定した血液の確保が必要である。 少子高齢化が進展の中、若年層の献血離れがすすんでいる。献血に対する理解が得られるよう、より一層の命の大切さ、献血事業の重要性を啓発していかなければならない。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 若年層への献血に対する正しい理解、協力を得るために啓発を更に強化すると共に、各種関係団体等と連携を図り、初めての献血者への推進強化と献血中断者の呼び戻しに努め、献血者の固定化傾向から更に幅広い人々の理解と協力を仰ぎたい。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
08	146	147	△1
19	780	780	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
差引一般財源								926		927	△1